

(第1面)

提出日を和暦で記入。

令和〇年〇月××日

川口市長 殿

産業廃棄物処理計画書

提出者 法人名及び代表者氏名

住所 川口市△△1-1-2

氏名 株式会社〇〇

代表取締役 〇〇 ××

押印不要

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 ●●●-△△△-□□□□

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

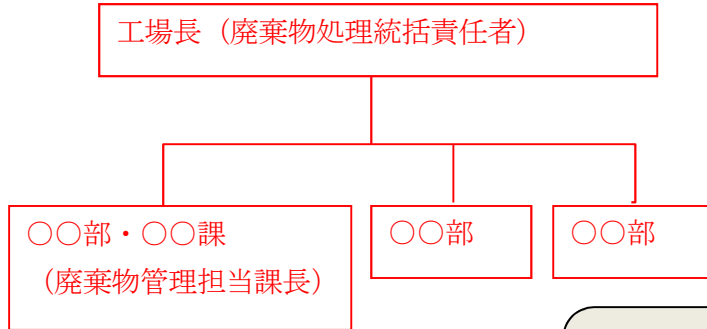
事業場の名称	株式会社〇〇 川口工場
事業場の所在地	川口市□□2-2-3
計画期間	今年4月1日～来年3月31日 令和〇年 4月 1日から令和●年 3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E24 金属製品製造業	日本産業分類の中分類を記入。
②事業の規模	5,000万円	製造業：製品出荷額 建設業：元請完成工事高 医療機関：病床数 その他：売上高
③従業員数	300人	今年の4月1日時点の従業員数
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類 → 減容(委託) → 有価物として売却 金属くず → 破碎(自己処理) → 有価物として売却 → 破碎(委託) → 再生資源化  当該事業場において生ずる全ての産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は委託の内容を含む。)を記入。	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物処理に関する管理組織図、教育・研修、情報公開等について記入。個人名は記載しない。「別紙のとおり」と記入し、別紙を添付することもできる。

産業廃棄物の種類ごとに前年度の実績値を記入。種類が3種類以上ある場合は「別紙のとおり」と記入し、別紙を添付。(以下同じ)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和◎年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	500 t	1,500 t
	(これまでに実施した取組) 納品時の梱包材や養生材を過剰にせず、必要最小限としている。		

産業廃棄物の種類ごとに、当該計画書の計画期間における目標量を記入。

取組内容は、現在実施している取組みの内容を具体的に記入。(以下、分別、自ら処理及び委託処理に関する事項についても同じ)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	400 t	1,400 t
	(今後実施する予定の取組) 発生抑制に関する社内研修を定期的実施する。		

計画については、当該処理計画書の計画期間で実施する予定のある場合はその取組み内容について具体的に記入。(以下、分別、自ら処理及び委託処理に関する事項についても同じ)

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類と金属くずについて、各製造ライン分別し、集積している。他のものと混在しないように、ラインごとにチェック体制を強化している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出される産業廃棄物の分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和◎年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	500 t
	(これまでに実施した取組) 保管量を管理して、良質な金属くずを売却している。		
	自社で再生利用した産業廃棄物及び自社で中間処理した後に自社で再生利用し、又は他人に売却した産業廃棄物について記入。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	500 t
	(今後実施する予定の取組) 昨年度の対応を継続していく。		
	自社の焼却施設で熱回収を行っている場合は、熱回収に利用した廃棄物の量（焼却前の重量）を記入。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和◎年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和◎年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特になし。	0 t	0 t
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">                     自社の処分場への埋立処分又は海洋投入処分した産業廃棄物及び自社で中間処理した後に自社の処分場への埋立処分又は海洋投入処分した産業廃棄物について記入。                 </div>		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 特になし。	0 t	0 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和◎年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	500 t	1,000 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	500 t
	再生利用業者への処理委託量	500 t	500 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組) 委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している。 委託実務に関する社内研修を定期的実施している。			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">                         優良認定処理業者へ委託を行った場合に記入。                     </div>			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">                         再生利用されることが確実な業者へ委託を行った場合に記入。                     </div>			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">                         認定熱回収業者に委託を行った場合に記入。                     </div>			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">                         認定業者以外の熱回収業者に委託を行った場合に記入。                     </div>			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	400 t	900 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	500 t
	再生利用業者への 処理委託量	400 t	400 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>委託した処分場等の現地確認を定期的実施する。 できるだけ優良認定処理業者から選定する。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。